

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズボンド木曽川		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 28日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・音楽療育を行っている。	・音楽療法士の元、子どもたちの興味関心に沿った活動を提供、子どもの主体性や対話を大切に活動を提供している。	・集団活動が主なので、今後は、さらに個々に応じた支援の充実を図れるように、活動プログラムの工夫を行っていきます。
2	・職員間でのミーティングをこまめに行い、情報共有や疑問解決を行っている。	・毎日の受け入れ前ミーティングで、利用者様の様子や状況など些細なことでも情報共有をし職員同士が把握できるようにしている。	・職員一人ひとりの気づきを職員全体の気づきとし、次の支援につなげていくこと、保護者様・学校や他デイと共有し、子どもたちに関わる人たちと共通理解を深めていきたい。
3	・欠席対応が柔軟である。 ・保護者様へのサポート。	・体調不良で欠席の場合も振替日を伝え、ご利用可能日数を利用できるようにしています。 ・電話やメール等での相談があった場合には、時間調整を行い、ご家族様に寄り添い、一緒に方向性を導き出せるように面談等を行っています。	・毎月の利用可能日数・予定・実績を一目で確認できるように一覧で管理し、電話対応時、どの職員でも答えられるようにしていく。 ・一緒に学びを深める機会や子どもたちの発達や成長を理解する視点を伝えるというペアレントトレーニング等の方向にもつなげていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者様同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。またきょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている。	・保護者様同士の交流する機会が少ない。 ・きょうだい向けのイベントを開催していない。	・定期的に保護者様に事業内容や活動内容、子どもたちの成長を伝えられるような機会や保護者様同士の交流の機会を継続して設けていきたい。 ・参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容など、保護者様の意向を取り入れ、様々な方法を試していきたい。
2	・地域交流の機会が少ない。	・子どもたち、地域の人の安全を考え、お出かけ先が限定しているので交流する機会が少ない。	・地域施設、公共機関と連携し、地域交流の機会、経験が制限されないようにしていく。また、現在、行っている施設の利用は、今後も増やしていく。
3	・トイレがバリアフリーになっていない。	・現在、肢体不自由児の受け入れを考えておらず、その部分をリフォームしなかった為。	・現在、肢体不自由児の受け入れはないが、使用時は事故等がないように十分注意していく。